

肌と心に寄り添う肌着を。患者様のQOLを高めるケアの輪を広げたい。

MediCure News

メディキュア ニュース by GUNZE

2018
Autumn
vol.

3

for SKIN

【特集】

皮膚への物理刺激を軽減する 肌着選びのポイント

【連載：肌着のキホン<第1回>】

「汗のはたらきと肌着の役割」

衣料 グンゼは衣で療やす「衣療」という考え方で、
医療 こちよさをお届けします。

明日をもっと、こちよく
GUNZE

皮膚への物理刺激を軽減する 肌着選びのポイント

衣類の物理刺激は、皮膚の痛みや痒みの増幅因子になる可能性があります。素材などを工夫することで、悩み軽減につながります。

1. やわらかい素材を選びましょう



肌にやさしい素材といえば、やっぱり綿でしょうか？

そうですね。綿には、
①肌触りが良い ②吸湿性が高い、といった
肌にやさしい特徴があります。



しかし、デメリットを一つ挙げるとすると、
綿は洗濯を繰り返すとかたくなりやすい特徴があります。



そこで、レーヨンという素材を紹介します！

レーヨンが含まれている肌着は、肌触りがよく、吸湿性が高いという特徴があります。

■レーヨンと綿の違い

	原料	良い点	留意点
レーヨン  <small>※画像は繊維表面の拡大写真</small>	パルプ(木材)などを原料とした「再生繊維」	<ul style="list-style-type: none"> 繊維表面の平滑性が高く、肌ざわりがなめらかでやわらかい。 天然原料からつくられ、綿以上の吸湿性がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 一般的には、洗濯で生地が縮みやすい。
綿 	綿花を原料とした「天然繊維」	<ul style="list-style-type: none"> 天然の「撚り」がかかって空気を含むため、ふっくらとした柔らかさがある。 吸湿性・吸水性に優れ、汗やムレの処理機能が高い。 	<ul style="list-style-type: none"> 洗濯を繰り返すとかたくなりやすい。

2. 縫い目・タグが直接肌に触れないようにしましょう

縫い目、タグが触れないようにするために、肌着を裏返して着る方法もありますが、縫い目、タグがない肌着を選ぶ、という方法もあります。



縫い目・タグのない肌着って？



きりっぱなし生地

生地端の縫製が不要で襟・袖・裾の折り返しなし



接着縫製

衣類用の接着剤によるつなぎ合わせで、縫い目なし



印刷タグ

洗濯絵表示を生地に直接印字することによるタグフリー

低刺激インナー(メディキュア)と同じ素材を使っています!

アーム・レッグカバー

腕と脚のお肌の保護に
ちょっとしたお出かけにも
低刺激アーム・レッグカバー。



男女兼用



きりっぱなし生地

自分で
カットOK
ほつれにくい

生地のどこを
カットしても
ほつれにくい!

低刺激インナーと同素材

やわらかい
ムレにくい

肌に
やさしく
フィット!

繰り返し使える

汚れが
落ちやすい

保湿剤や皮脂
汚れをしっかり
落とせます!

皮膚トラブル対策に



親指を通した例

トラブルを起こしたお肌のカバーや、保湿剤を塗布したお肌の保護におすすめです。また、透析用シャントのカバーなどにも活用できます。

筒状包帯の代わりに

使い捨てになりやすい、筒状包帯の代用品としてご利用ください。被覆材の固定にも便利です。本品に付着した保湿剤や汚れは洗濯で落ちやすく、また洗濯時の縮みも少ないので、繰り返し着用いただけます。

紫外線対策として

本体色ブラックは、紫外線を99.9%カット (UPF+50) できるから、紫外線対策にもおすすめ。オールシーズン利用可能です。

着用者より

- ▶ シンプルで男女・年齢選ばず使用しやすいと思います(50代)。
- ▶ 肌にやさしく、痒くならないところが気に入りました(40代)。
- ▶ 肌にピッタリで、軽くて着用しやすいです(40代)。
- ▶ 思った通り肌ざわりがよく、足用にも購入したいと思いました(50代)。

メディキュアシリーズ アイテム一覧



低刺激インナー



アーム・レッグカバー



ネックカバー



サポートキャップ



前開きハーフトップ



ハイウエストショーツ



カッティングチューブ



ボクサーブリーフ



インターネット

商品について、より詳しい内容は

グンゼ メディキュア

「メディキュア」ブランドサイト
<http://www.medicure-gunze.com/>



【商品内容のお問い合わせは】グンゼ株式会社 お客様相談室

フリーダイヤル 0120-167874

受付時間 月曜日～金曜日 9:30～17:00

(土日祝日、年末年始などの休暇を除く)

<http://www.gunze.co.jp/support/>

3ページのクイズの答え ③背 【解説】 全身でみると、発汗量が多いのは、顔や背(脊柱付近)など、脳につながる部位になります。脳温の過度な上昇を抑えるために、有効な部位である可能性が考えられます。(参考)[ヒトの発汗調節特性と部位差]近藤徳彦、井上芳光